



令和4年度 宿利原小学校だより

宿っ子

7月号



学校のホームページは上のQRコードからお入りください



命を守る訓練

校長 有留 盛昭

夏の暑さと突然の大雨や雷が代わる代わる訪れるこの頃です。コロナウィルス感染症の予防と熱中症予防のバランスをとりながら学習を進めてきた1学期が本日で終わり、いよいよ夏休みが始まります。保護者や地域の皆様方には、1学期の学校教育活動へ御理解と御協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

さて、このところ事件や事故により誰かが命を失う報道、海外での戦争の報道等に触れることが多いように感じます。その度に、何よりも重く、一人がたった一つだけ持っているかけがえのない命が、あっけなく消えている現実を、大変悲しい気持ちで受け止め、憤りさえ感じてしまいます。何が起こるか分からないこの社会では、自分たちの命を自分たちで守る力を身に付けていなければなりません。

本校では4月に交通安全教室・集団下校（自転車の乗り方・歩行・横断・通学路の危険箇所確認等）5月に地震想定避難訓練、7月に心肺蘇生法・AED講習会（全保護者・全職員対象）、不審者対応訓練（不審者校舎内侵入想定）、着衣水泳を実施しました。また、裏面にもありますように、今年度は5・6年生向けに救命救急教室を実施し、児童2人は救命入門コース参加証をいただくことができました。

不審者対応訓練では、不審者が教室内に侵入してくるという想定で、錦江警察署の方々の御協力と御指導のもと、訓練を実施することができました。この訓練は、不審者の様子に応じて臨機応変に対応する必要があり、なかなか思うようにはいきません。児童の安全確保が一番大切です。不審者にできるだけ気付かれないように素早く児童を安全な場所に避難させます。私たち職員も自らの命を守らないといけません。不審者を興奮させないような初期対応や、臨戦時のさすまたの使い方など、まだまだうまくいかないことばかりでしたが、全員が緊張感をもって訓練を受けることができました。また、日頃から子供たちの登下校を見守って下さっている青パト隊の皆様にもきていただき、子供たちに紹介することができました。もしも、実際に事案が発生した場合、警察の方が宿利原小に到着するのは、通報してから最短で15分です。（救急車も同様です。）その間職員が、児童の命を守っていかねばなりません。児童が下校したあと、警察の方から御指導をいただき、職員向けの不審者対応講習と、訓練時の反省を行うことができました。

子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。最近、本格的な暑さと大雨の報道が繰り返されていることが気になります。局所的・継続的な積乱雲の発生（線状降水帯）については、いつ・どこで発生するか分かりません。気象庁の発表に耳を傾け、危険を回避することは自らの命を守る上での常識になってきています。是非、子供たちとも命を守る行動について、家庭で話題にさせていただければと思います。長い夏休みが、全ての子供たちにとって、充実した良い休みとなりますように御協力をよろしくお願い申し上げます。



AED講習会(保護者・職員)



不審者対応講習(職員)